



本格稼働させた1500トプレス機

三芳合金

コルソン系銅合金増産

樹脂成型 大型鍛造プレス機活用

三芳合金工業(本社 埼玉県三好町、萩野源次郎社長)は樹脂成形金型向けの銅合金を増産する。一般的な金型材料にはベリリウム銅が使われるが、独自製品のコルソン系銅合金「NC合金」はベリ

リウムを含まずに同等の強度を実現。環境への関心が高い欧米向けに出荷量が増えている。9月から本格稼働させた大型鍛造プレス機を活用して生産性を高め、出荷量の増加を目指す。

銅合金は熱伝導率が鋼材より高く、樹脂成形金型に使用すれば鋼製より早く熱を逃がすことができるため短時間で樹脂を冷やせる。その時間短縮で単位時間当たりの射出回数を増やせ、成形品の変形も防げることから需要家のニーズが伸びている。その中でも、NC合金はコルソン合金をベースにニッケル、シリコン、クロムなどを配合することでベリリウム銅と同等の強度と高い

熱伝導性を確保。人体に影響を及ぼすベリリウムを含まないため、環境規制が進む欧米からの需要が高まっている。

大型鍛造プレス機は2柱式ブルダウン型1500ト鍛造プレス機。従来は最大2トクラスのエアハンマーで大型鍛造品の加工作業を行っていたが、大型プレス機の導入で生産能力を向上できる。精密な数値制御で品質の安定化も実現する。